

「ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド」

ご参考資料 | 2023年11月15日

Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）



設定後の当ファンドの値動きに関して

ポイント

- ① 設定来の基準価額の動きと投資環境について
- ② パフォーマンスを個別銘柄で振り返り
- ③ 今後の見通しについて

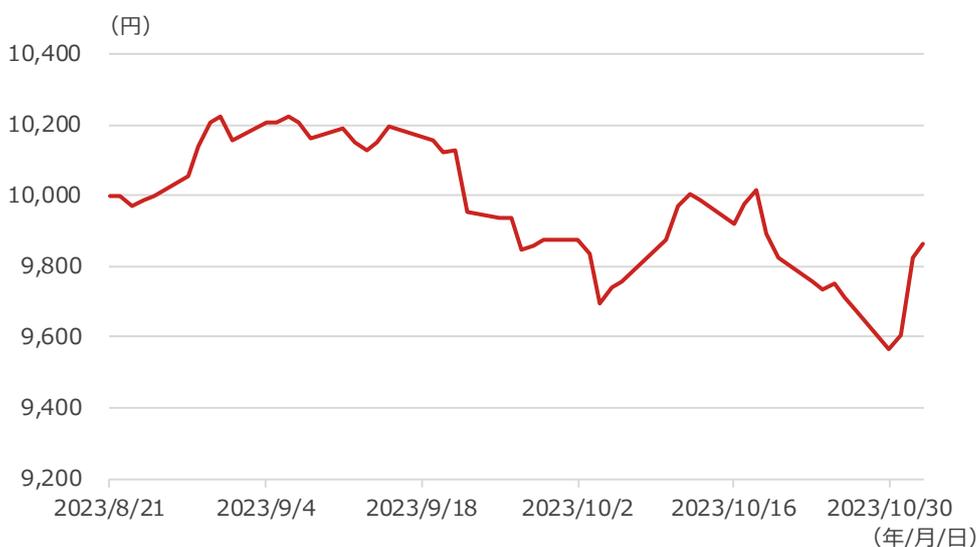
① 設定来の基準価額の動きと投資環境について

米国の金融政策などに左右される世界株式市場

2023年8月21日のウエリントン・企業価値共創世界株ファンド（以下、当ファンド）の設定後、株式市場は下落しました。設定後すぐに開かれたジャクソンホールでの経済シンポジウムにて、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長は景気動向によっては追加利上げの可能性を示唆したものの、更なる金融引き締めへの過度な警戒感が後退したことなどから米国株式市場を中心に上昇しました。しかし、9月にはFOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の据え置きが決定されたものの、金利水準のさらなる上方修正が示唆されたことなどから下落しました。また、10月には中東情勢の悪化や、米下院議長選挙での選出遅れによる混乱なども起こり、これらも株式相場下落要因となりました。

当ファンドの基準価額も相場同様に推移し、11月2日時点では10,000円を下回る値で推移しています。

設定来のBコース（為替ヘッジなし）の基準価額推移



期間：2023年8月21日（設定日）～2023年11月2日、日次
注：上記期間において分配実績はありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

② パフォーマンスを個別銘柄で振り返り

8月21日の設定から10月末時点の期間において、組入上位10銘柄（9月末時点）の中で最も上昇した銘柄および下落した銘柄を紹介いたします（現地通貨ベース）。

☆ 上昇銘柄：マイクロソフト

Officeでおなじみの米国の巨大IT企業

世界株式（MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス）が米ドル建てで約5%下落するなか、マイクロソフトは5%ほど上昇しました。10月末に発表した2023年7-9月期の決算では、売上高・純利益が前年同期比で大きく増加していたこと、中核事業である“アジュール”（クラウドサービス）に復調の兆しが見えたことなどが主な上昇要因となりました。なお、当ファンドの運用チームは、LinkedIn（世界最大級のビジネス特化型SNS）などの買収を通じた新規顧客層の獲得や、業務効率化をサポートするMicrosoft 365 Copilotなどの新サービスが長期的な売上に貢献することを期待しています。

☆ 下落銘柄：テキサス・インスツルメンツ

半導体の設計・製造・販売を手掛ける

当ファンド設定後は、大手半導体企業の株価推移を表すSOX指数（フィラデルフィア半導体指数）の下落とともに緩やかな下落が続きました。また10月末に発表された2023年第3四半期の決算においても売上・営業利益・純利益ともに前年に届かなかったことなどが嫌気され、株価下落の要因となりました。なお、当ファンドの運用チームは、経営が長期志向である点や、安定したキャッシュフローを経営指標にしている点など、優れた経営による資本政策を評価しています。

上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

2023年9月末時点の組入上位10銘柄 設定来騰落率

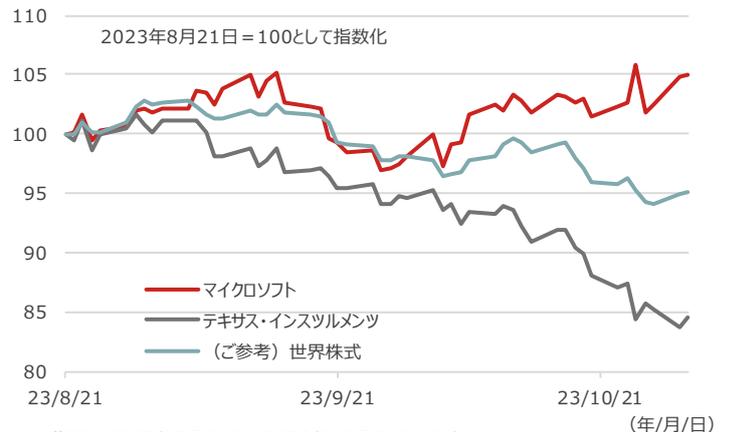
	銘柄名	騰落率
1	マイクロソフト	5.04%
2	ディア	-6.51%
3	TSMC/台湾セミコンダクター	-1.49%
4	ノーザン・トラスト	-13.49%
5	リクルートホールディングス	-9.31%
6	ビザ	-1.82%
7	シスコ・システムズ	-5.97%
8	ホーム・デポ	-12.15%
9	テキサス・インスツルメンツ	-15.45%
10	インダストリアル・デ・デッセニョ・テクスティル	-4.57%

期間：2023年8月21日～2023年10月31日

・現地通貨ベース

（出所）Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成

マイクロソフト、テキサス・インスツルメンツの株価推移

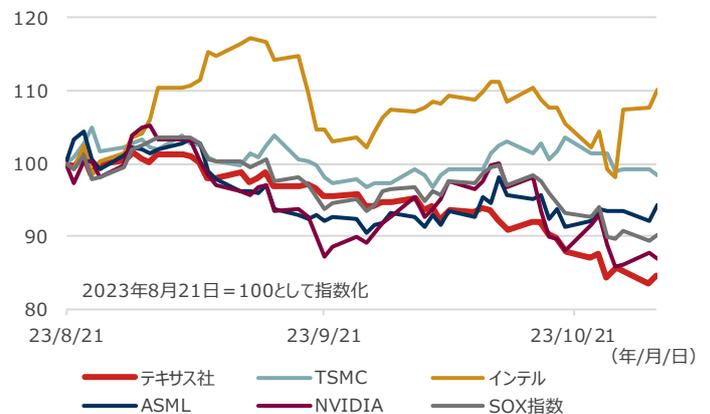


期間：2023年8月21日～2023年10月31日、日次

・世界株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス

（出所）Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成

SOX指数とテキサス社および競合他社の株価推移



期間：2023年8月21日～2023年10月31日、日次

（出所）Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成

③ 今後の見通しについて

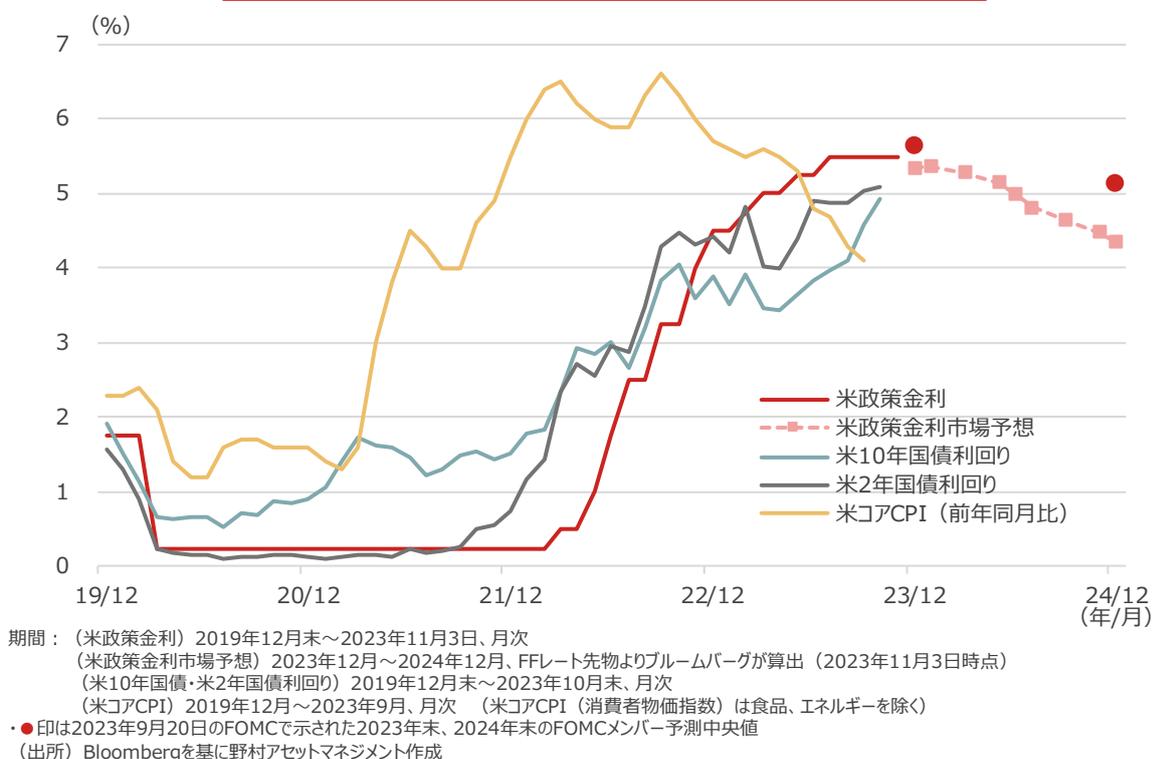
優れたスチュワードシップ[®]※を有する企業への長期・集中投資

各中央銀行の金融政策や各種経済指標、インフレ動向、地政学リスクなどの様々な要因からいまだ不透明感の強い投資環境が続いています。米コアCPIは低下傾向であるものの依然として4%程度で推移しており、米2年国債、米10年国債利回りは高止まり状態が続いています。サプライチェーンの分断や紛争リスクなどを考慮すると、今後もインフレ懸念は継続する可能性があります。このような環境下では、企業の稼ぐ力を表すROE（自己資本利益率）および優れたスチュワードシップを有する企業に注目した投資が重要になると考えられます。当ファンドのポートフォリオの平均ROEは2023年9月末時点で25.44%と世界株式の20.16%と比較しても高水準です。また、当ファンドにおける各銘柄の想定保有年数は平均して約10年です。長期保有投資家であるアドバンテージを最大限に活用し、積極的なエンゲージメントを行なうことで、各発行体の企業価値の向上および株価リターンの向上、つまり“価値共創”にコミットしてまいります。

銘柄の具体例を挙げると、情報技術セクターにおいてはTSMC/台湾セミコンダクター、テキサス・インスツルメンツ、マイクロソフト、ビザなどの銘柄には高い確信を持ち続けています。これらの企業は、高水準かつ持続可能な資本利益率と優れたスチュワードシップにおいて、運用チームの厳しい基準を満たしています。

※スチュワードシップとは、企業の自社の利益とステークホルダー（利害関係者）の利益のバランスを重視した、持続的成長につながる企業努力を指します。

米国金利と物価指数の推移



<当資料で使用した指数の著作権等について>

●MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの運用状況

基準価額の推移

期間：2023年8月21日（設定日）～2023年11月8日、日次

Aコース（米ドル売り円買い）



Bコース（為替ヘッジなし）



上記期間において分配金実績はありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド」Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）

ファンドは、ESG[※]を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。

※ ESGとはEnvironment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の企業の株式を実質的な主要投資対象[※]とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。
- 各々以下の外国投資法人である「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い [※])	ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ有、分配金無)
Bコース (為替ヘッジなし)	ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ無、分配金無)

※Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。

- 通常の状況においては、「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」への投資を中心とします[※]が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状況においては、「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■ファンドの組入銘柄■

ファンドが投資対象とする「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」は、ESG特性を重視して選定された銘柄に純資産総額の90%以上投資を行ないます。

* 投資対象銘柄のESG特性を考慮してポートフォリオ構築を行なう際の制約要因やリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

■投資対象とする外国投資法人におけるサステナブル投資■

投資対象とする外国投資法人では、持続可能な社会に向けて以下の目標を掲げています。

・経営陣や取締役がスチュワードシップへの優れた取り組みを見せる企業の株式に投資を行ないます。

・パリ協定に基づき投資先企業において2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ(ネットゼロ)とすることを促します。

上記の目標に沿って設けられた社会や環境に関するスチュワードシップ基準について、一定の水準を満たす企業に投資を行ない、その投資比率は純資産総額の90%以上を維持することを基本とします。

■スチュワードシップ方針について■

投資対象とする外国投資法人では、ポートフォリオ構築プロセスにおいて、議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて得た知見などを活用して投資対象銘柄を決定します。

ウエリントン・マネージメント・グループは、議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。

ウエリントン・マネージメント・グループのスチュワードシップ方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、

「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針」にある「ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド」の「スチュワードシップの方針はこちら」より、

ウエリントン・マネージメント・グループのサイト(英語)にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4>

- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。

(販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。)

- 原則、毎年6月および12月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり量が小さかった場合も同様です。

【投資リスク】

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

(2023年11月現在)

- 信託期間 無期限(2023年8月21日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、6月および12月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかに該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
・復活祭(イースター)直後の月曜日(イースターマンデー) ・メーデー(5月1日)
・クリスマス(12月25日)の直前および直後のニューヨーク証券取引所の営業日
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.012%(税抜年0.92%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ^(注) 年1.662%程度(税込) (2023年7月21日現在 年1.512%程度(税込)) (注)ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、 ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

NOMURA
野村證券

お申込みは

商号：野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。